

2023 年度

ニチイキッズ福島いずみ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。

また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 1 月 4 日（目）～1 月 31 日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月15日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、会議等で定期的に理念の内容を理解し、保育理念に沿った保育計画の作成、子どもとの関わりへ意識付けの場を設けている。
子どもの発達援助	不適切保育が問題視されている昨今、子ども一人一人に寄り添った「子どもの最善の利益」を考慮した保育になっているか、日々、保育の振り返りを行ってきた。職員間で個々にあった言葉かけや援助などを共有し、継続性ある関わりで子どもの望ましい発達が期待出来るよう努めた。
保護者に対する支援	保護者それぞれに異なる仕事や家庭環境を踏まえ、相手の話をよく聴く傾聴を意識し、コミュニケーションをこまめにとっている。信頼関係を構築する事で話しやすい雰囲気を作っていける一方で、なれあいの関係性とならないように丁寧な言葉遣いや適切な言葉選びを心がけるように気を付けてる。 保護者からの相談や意見があった時は、みんなで情報を共有し、園全体で保護者のサポートをする気持ちで支援している。
保育を支える組織的基盤	外部、内部研修の参加や定期的な園内研修、職員会議を実施し全職員のスキルアップに繋げた。自分の経験や保育観で固執せず柔軟な考え方をもち、同僚性の構築に努めた。

総評
園の保育理念や保育方針を理解し、日々の保育や行事を進めてきた。子ども一人一人の成長を考慮し、各クラス保育内容に取り組むことが出来た。日頃から園全体での情報共有や会議での活発な意見交換があることで、連携が取りやすくスムーズに進めることが出来た。各自、研修へ参加し学んだことを共有し、保育士の資質向上に繋がった。年々変わりゆく社会情勢に対し、保育現場も変わってきていると感じるので、意識改革をすることも大切にしながら、子どもと保護者が安心して通える園にしていきたい。